

= 『常永地区 ふるさと探検』ガイドBook =

①お御前稲荷神社（おみさきいなり神社） <https://youtu.be/n57ed2vqlO4>



いたずら好きな狐が村人を困らせないようにと祠（ほくら）を建てたのが始まり。昔は川の土手に建てられていたとのこと。昭和初期のころは、夜店もたくさん出る盛大な祭りが行われた。今でも『昭和町の民話集』に「お御前稲荷さん」と題して、話が載っている。

②六地藏石幢（ろくじぞうせきどう） <https://youtu.be/-M0WewAgZwc>



石幢とは石塔の一種で、六地藏石幢とは、幢身の六面ごとに地蔵を彫りこんだ六地藏のこと。地蔵石仏、六地藏石仏等と同様に、集落と集落の境に建てられた村のはずれのお地蔵さんと同じ。また、六地藏とは、人々を救う6体の地蔵菩薩のこと。六面に掘られた6体のお地蔵さんは必見。室町時代から鎌倉時代にかけてのものとされる。

③補償〔農業用取水〕いど <https://youtu.be/JtTYFSGOFhU>



昭和町の水道水は、昭和浄水場（地下水）と平瀬浄水場（荒川の水）の水を使っている。この場所の井戸は補償井戸といって、農業用の水を地下から吸い上げる設備だが、上水もこのような設備で、地下約 100M から地下水を吸い上げている。町内には上水用井戸が 20 基、補償（農業用）井戸が 18 基ある。

④飯喰・熊野神社 https://youtu.be/8L4ZS1tM_7M



明治から昭和の初期まで、飯喰区を守る神社、鎮守（ちんじゅ）社とされていた。伊勢冊命（イセサクノミコト）等をおまつりする。熊野神社は世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産、熊野本宮大社〈本宮〉、熊野速玉大社〈新宮〉、熊野那智大社〈那智〉の流れをくむ。

⑤伊久比学校（跡） <https://youtu.be/TRIPFVIE8ck>



伊久比学校は明治 5 年 9 月 6 日に、飯喰、河西、上河東、築地新居を通学域とし、小沢織右衛門方に開校した学校。明治 9 年には押原学校と合併する。常永小学校は平成 14 年に、飯喰区、河西区、上河東区、上河東二区を学区とする小学校として、押原小学校から分離、開校した。

⑥かすみ堤（公園） <https://youtu.be/baKdtTuaCTQ>



釜無川の氾濫を抑えるために、戦国時代、武田信玄が築いた堤防を「信玄堤」と呼んでいる。「信玄堤」には、河川の流れを制御する「本堤」の他に、洪水時に川の水量を調整したり、本堤が決壊した時に流れ出た水を本流に戻したりするための堤防が築かれた。この堤防を「かすみ（霞）堤」という。飯喰から河西に残る「かすみ堤」は、その堤防の跡。

⑦河西・諏訪神社 <https://youtu.be/ILjtgFGrVQY>



明治から昭和の初期まで、河西区を守る神社、鎮守（ちんじゅ）社とされていた。釜無川の氾濫による水難除けの神として、崇拝されてきた。建御名方命（タケミナカタノミコト）をおまつりする。長野県の諏訪湖近くの諏訪大社の流れをくむ。

○法界寺 創立 1616 年の日蓮宗のお寺。日蓮上人の御真筆の曼荼羅がある。本日は法事があり、見ることはできない。

⑧河西・道祖神 <https://youtu.be/0V7Dbucy5qA>



道祖神は、集落の境や村の中心、村内と村外の境界や道の辻、三叉路などにまつられる神。村の守り神であったり、子孫の繁栄、旅や交通安全の神として信仰されている。形にもいろいろあり、丸い自然石を用いた「丸石道祖神」や「祠（ほくら）道祖神」もある。常永地区内にも点在している。

⑨【町指定文化財】石原家古文書(龍朱印状) <https://youtu.be/gtw74KupXWk>



武田信玄の家臣であった、石原家の祖先石原次郎三郎が、1571 年 5 月、信玄から与えられた書状。これには、信玄の花押(かおう＝サイン)の代わりに、龍朱印(信玄の公印)が押してある。内容は、手がらをたてた石原氏に対して、信玄が褒美を与えるとの通知。個人宅なので、敷地内立ち入り不可。

⑩河内路（かわうちじ）・身延路(みのぶみち) <https://youtu.be/Hlb56YYKegk>



河内路は、甲斐国(山梨県)と駿河国(静岡県)とを結んだ古道である。駿州往還(すんしゅうおうかん)ともいわれた。身延山久遠寺にお参りする人にも利用されていたことから、身延路ともいう。伊能忠敬の『大日本沿海輿地全図 甲斐・信濃 部分』には、「上河東村・河西村」の文字がある。忠敬はこの道を歩き、富士や御坂の山並みを眺めたに違いない。

⑪保坂家の川端(かわばた) https://youtu.be/0uRN1W3_Kq8



昭和町での水道による給水は、昭和 33 年に始まる。少なくともそれ以前、川という川に豊かできれいな水が流れていた昭和町では、なべ、釜、茶碗のすすぎ、洗濯は、井戸(いど)水その他、専らこの川の水を使っていた。これらの洗い物をする場所は一般的に「川端」と呼ばれ、日常生活に欠かせない場所であった。保坂家の川端は、当時の姿を今に伝えている。

⑫【県指定文化財】妙福寺の鰐口(わにぐち) <https://youtu.be/jk8aqB7vICw>



鰐口は寺社の「のきした」等に掛け、お参りの時に、つり下げられたひもで打ち鳴らすもの（神社の鈴のようなもの）。妙福寺の鰐口は、1535 年に室町時代の武将・穴山信友が、現身延町下山の長谷寺に納めたことが記されている。その後、甲州に侵攻した織田信長の軍勢が長谷寺から奪い、妙福寺に置いていったとの説がある。、本町唯一の県指定文化財。

⑬・⑮上河東・道祖神 <https://youtu.be/AwD1CZnWK9o>



道祖神は、集落の境や村の中心、村内と村外の境界や道の辻、三叉路などにまつられる神。村の守り神であったり、子孫の繁栄、旅や交通安全の神として信仰されている。形にもいろいろあり、丸い自然石を用いた「丸石道祖神」や「祠（ほくら）道祖神」もある。常永地区内にも点在している。

⑭大円寺の満願地蔵 <https://youtu.be/C4HFvGo1r9Q>



大円寺は日蓮宗のお寺ですが、戦国時代の 1561 年までは大常寺という浄土宗の寺だった。この大常寺の本尊が満願地蔵であった。このお地蔵さんはその名のとおり、どんなことでも願いをかなえてくれると言われている。

⑯武田好文美術館 <https://youtu.be/3uO3cdkf4I8>



画家・武田好文（たけだこうぶん）氏は、大正 12 年常永村に生まれた。山梨美術協会や太平洋美術会などで活躍。北海の風景やヨーロッパの古い町並みをモチーフにした絵を多く描いた。常永小にも「北の海」「富士」と題する 2 作品が寄贈されており、「北の海」は、中・高学年児童玄関の右上に、「富士」は学習資料センター入口に掲げられている。

⑰上河東・熊野神社 <https://youtu.be/mVJUmyWCf10>



この地は、甲斐源氏の家臣・加藤兵衛景正（かとうひょうえかげまさ）の屋敷跡とされている。この熊野神社は、加藤郷の八か村（上河東の他、河東中島、中央市の下河東、飯喰、築地新居、甲斐市の玉川、等）の総鎮守だった。よって、その昔、お祭りにはたくさんの御輿（みこし）が各村を練り歩いたそうだ。その一基が、今でも保存されているという。

⑱昭和カメラ博物館 <https://youtu.be/9xbTeyvG6BU>



明治時代から最近までの約 100 年にわたり製造された内外のカメラ約 500 台を展示している。オーナーの磯部寛さんが、趣味で半世紀かけて集めたコレクション。カメラ博物館の隣には、年代物の名車・ジャガーも収められている。メカに興味のある方には、垂涎の品の数々であることは間違いない。

謹製：みらいに種をまく甲斐（常永小内）【複写不許】